

令和2年度事業報告書

(令和2年7月1日から令和3年6月30日まで)

(会の目的)

100年先も子どもたちが幸せであることが最大の目的。まず東日本大震災で未だ元の生活に戻れていない福島の子どもたちの応援を続けることで、日本の子どもたちの幸せの一助となるのが会の目的である

(事業)

1・福島の子どもたちを応援する

1. ミナソラの単独事業として4回目となる「短期幼稚園留学」を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止を決定した。
2. 福島の母子のための保養施設「ミナソラこどもの家」プロジェクトを立ち上げた。
プロジェクトの資金集めのため、キャンプファイヤにてクラウドファンディングを実施。支援者150名から986,744円の寄付を集めた。
また、「短期幼稚園留学」と「ミナソラこどもの家プロジェクト」の今後の資金獲得のため、「スマイルボタン3.11プロジェクト」を立ち上げた。
これは、年に一度、3月には東日本大震災を思い出し、福島の子どもたちのために手を取り合おうという趣旨で、協賛企業や店舗での物品・サービス購入を促し、協賛企業や店舗から寄付をもらうという内容。
3. ミンナソラノシタオリジナルグッズを販売し、その収益の一部を「福島こども応援基金」として積み立てた。
6月現在積立額 2,990,937円(基金設立以来累計 4,031,937円)
4. 郡山私立幼稚園協会にハンドソープを寄贈した。
ハンドソープ(2020年10月6日 64個・2021年4月20日 141個) 合計 205個

2・東日本大震災を忘れない啓発活動を行う

◇イベントを通じての啓発活動

1. トークイベント「10年目の3.11会議」を開催した。
開催日：3月7日
会場：臨濟宗大本山妙心寺・大方丈
会場登壇者：京都信用金庫理事長・榊田隆之、嵯峨幼稚園園長・藤本明弘、
ペーパーカンパニー(株)代表・中村修治、ミナソラ代表・林リエ
オンライン登壇者：(株)ボーダレス・ジャパン代表・田口成一、写真家・赤城修司

行健除染ネットワーク代表・鈴木洋平、ミナソラ福島支部・伊藤抄子
来場者：120名(会場とオンライン合わせて)

2. 講演・講座

- ・洛西中学校2年生に出前授業（9月11日）
- ・コープ自然派京都 Zoom イベント（3月19日）
- ・豊中市立第五中学校1年生に防災出前授業（1月16日）

◇広報活動

1. マスコミ取材

- ・関西テレビ 「報道ランナー」(9月11日)
「LiveNews イット！」(3月7日)
- ・FM おとくに 「モーニングおとくに」(3月11日)
「Wrapping Mondy」(4月12日・5月10日・6月28日)
- ・京都新聞 「洛西中学校出前授業」(9月12日)
「スマイルボタン3.11プロジェクト」(11月18日)
「こどもの家プロジェクト」(2月2日)
「10年目の3.11会議告知」(3月2日)
「10年目の3.11会議」(3月8日)
「福島支援継続へ決意」(3月17日)
「コラム 竹の音」(6月1日)

◇研修活動

1. 防災勉強会① 11月24日 講師：みんなで減災し隊！
防災勉強会② 12月11日 講師：ほくせつ親子防災部

3・福島と京都のご縁を紡ぐ

ミナソラ福島支部と Zoom 交流会で意見交換した(7月)

以上